

避難行動要支援者名簿制度 地域の福祉・防災取組事例集

令和8年3月
豊田市よりそい支援課

第1章 地域の福祉・防災取組について

第2章 各自治区の実践について

- ・ 中田自治区 (P.8 ~)
- ・ 亀首町自治区 (P.18~)
- ・ 大島町自治区 (P.26~)
- ・ 岩滝町自治区 (P.33~)

1 地域の福祉・防災取組事業 について

1 事例集について

豊田市では、避難行動要支援者の支援体制づくりを促進するため、令和2年度から「**避難行動要支援者避難の実効性を高める取組**」を実施しています。

当事業では、災害時において、自治区、自主防災会、民生委員等と消防団との連携による共助を中心とした避難支援体制強化を図るため、複数の自治区と連携し、勉強会やワークショップ、防災訓練等を実施しています。

この事例集は、

「避難行動要支援者対策について何から取り組めばいいか分からない」
といった地域の声を反映し、各地区の取組を時系列で紹介しています。
地域で取組を進める際の参考にしていただければ幸いです。

2 実施期間

令和2年度～令和7年度

3 実施自治区

- 中田自治区
- 亀首町自治区
- 大島町自治区（令和6年度で終了）
- 岩滝町自治区（令和4年度で終了）



2 各自治区の取組について

中田自治区 (P.8 ~)

主な取組内容

- 役員向け勉強会やワークショップの実施
- ふれあいまつりで車いす体験ブースを設置
- 災害対応を想定した自治区連絡訓練の実施



亀首町自治区 (P.18~)

主な取組内容

- 自主防災会に常任の役職を新設し体制強化
- 要支援者支援を踏まえた防災訓練の実施
- 要支援者に自治区主体でアンケートを実施



大島町自治区 (P.26 ~)

主な取組内容

- 役員向け勉強会やワークショップの実施
- 要支援者支援を踏まえた防災訓練の実施



岩滝町自治区 (P.33 ~)

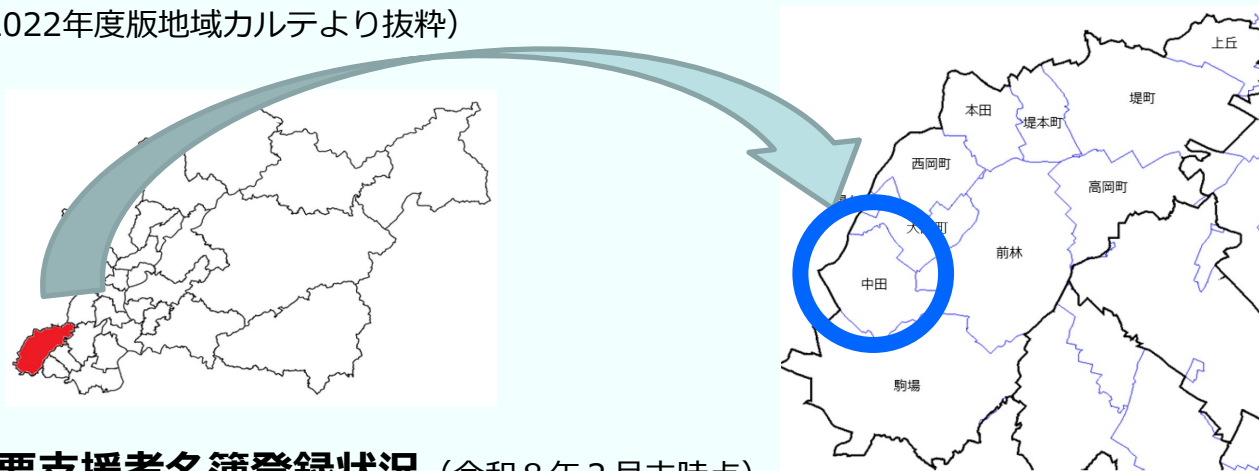
主な取組内容

- 役員向け勉強会やワークショップの実施
- 避難行動要支援者名簿を組長まで共有
- 防災訓練で要支援者宅の訪問調査を実施



中田自治区の概要

◎ **位置図**（2022年度版地域カルテより抜粋）



◎ **避難行動要支援者名簿登録状況**（令和8年2月末時点）

前林 全体		要介護	ひとり暮らし	在宅重度	身体	登録依頼者	合計
	全体	146	120	17	74	8	365
	同意	79	120	14	53	8	274
	不同意	67	0	3	21	0	91

中田 自治区		要介護	ひとり暮らし	在宅重度	身体	登録依頼者	合計
	全体	12	17	2	8	0	39
	同意	8	17	2	5	0	32
	不同意	4	0	0	3	0	7

令和2年度 中田自治区の取組

主な取組

- 要支援者への支援体制構築に向けた**ワークショップの実施**
- 要支援者への支援に視点を置いた**ICT技術活用の実証実験の実施**

取組の経過

時期	参加者	内容
5月22日	区長	今年度の取組に関する打合せ
6月	区長	ワークショップに向けた打合せ
8月8日	区長、消防団 自治区役員	ワークショップの実施
12月8日	区長、民生委員 自治区役員など	防災アプリ実証実験の実施

成果

- ◎ワークショップに自治区役員や消防団も参加し、**自治区の様々な支援者との情報共有や意見交換をする機会を創出**
- ◎実証実験を通じて最新の要支援者対策を体験し、支援の選択肢を拡充

課題

- 災害時における自治区内の連絡体制の確立
- ICT技術の活用に向けた継続的な検討
- 自治区内での支援体制の継続協議

令和3年度 中田自治区の取組

主な取組

- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**役員向け勉強会やワークショップを実施**
- 個人情報管理を徹底した上で、自治区役員等にも避難行動要支援者名簿を共有**
- 区民にも要支援者対策を周知するため、**ふれあいまつりで車いす体験ブースを設置**

取組の経過

時期	参加者	内容
7月28日	区長	今年度の取組に関する打合せ
8月27日	区長、自治区役員	役員向け避難行動要支援者対策勉強会
9月11日	区長、消防団自治区役員 民生委員、お助け隊	ワークショップの実施
10月7日	区長、自立支援協議会（社協）	ふれあいまつり打合せ（車いす体験）
11月14日	自治区全体、自立支援協議会（社協）	ふれあいまつり出展（車いす体験等）
12～1月	区長、自治区役員、民生委員	ICT技術活用の実証実験

成果

- ◎役員向けの勉強会やワークショップを通じて**要支援者対策の意識が向上し、役員まで避難行動要支援者名簿の情報を共有することで支援体制を強化**
- ◎ふれあいまつりに要支援者対策の要素を入れることで、**区民が楽しみながら制度や取組を知る機会を創出**

課題

- 要支援者の具体的な支援方法や役割分担の検討
- 要支援者対策の取組の継続性

令和3年度 中田自治区の取組

9月11日ワークショップ



11月14日ふれあいまつり



令和4年度 中田自治区の取組

主な取組

- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**役員向け勉強会やワークショップを実施**
- 前年度に引き続き区民へ周知を図るため、**ふれあいまつりで車いす体験ブースを設置**
- 災害対応を想定した**自治区内の連絡訓練の実施**

取組の経過

時期	参加者	内容
8月30日	区長ほか	今年度の取組に関する打合せ
9月10日	区長、みどり会 自治区役員、消防団 民生委員、お助け隊	勉強会及びワークショップの実施
9月28日	区長、副区長	ふれあいまつり打合せ（車いす体験）
11月13日	自治区全体、自立支援協議会（社協）	ふれあいまつり出展（車いす体験等）
11～1月	区長、自治区役員、民生委員	ICT技術活用の実証実験
1月21日	区長、副区長ほか	171伝言ダイヤルを使用した連絡訓練

成果

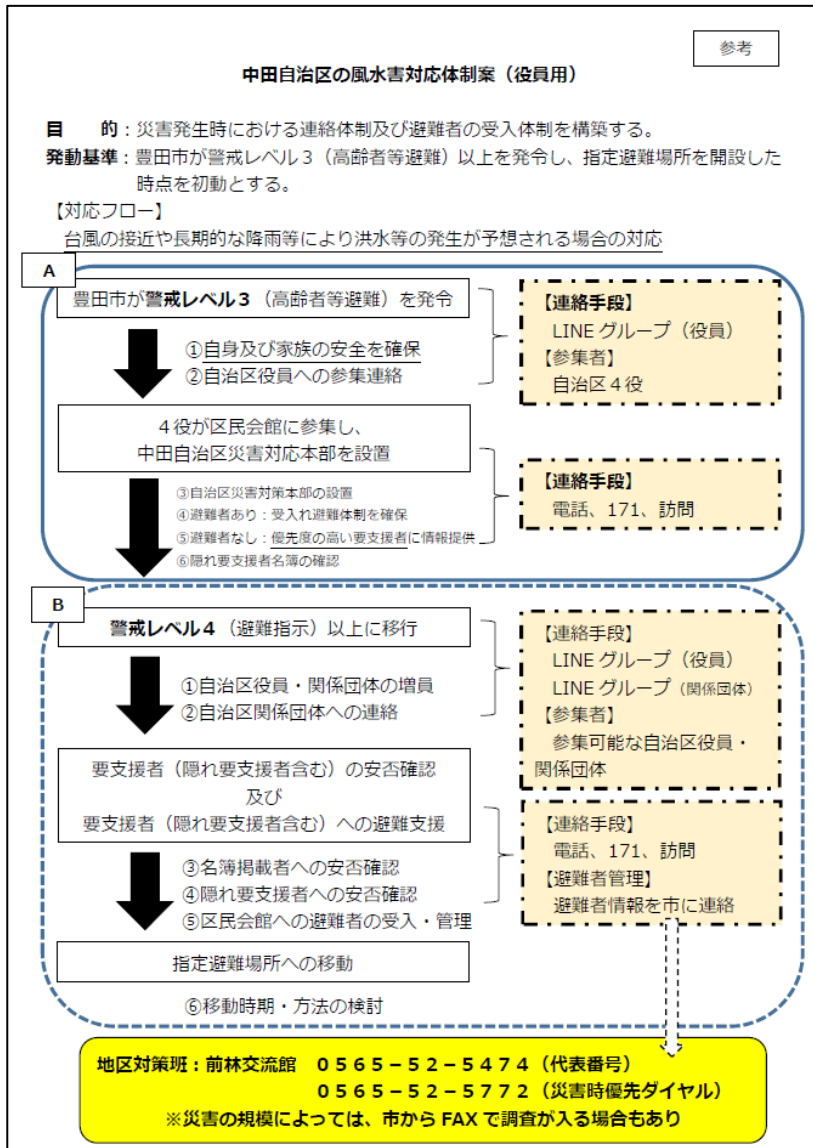
- ◎自治区役員や地域の支援者が参加する勉強会やワークショップを継続的に実施し、**地域全体で要支援者対策の重要性を共有**
- ◎自治区の連絡や参集体制を訓練を通じて検討し、**災害時対応の基礎を構築**

課題

- 避難行動要支援者名簿に掲載されていない隠れ要支援者への対応
- 地域の支援者情報の集約と、要支援者の避難支援優先度の検討

令和4年度 中田自治区の取組

○連絡訓練資料



災害用伝言ダイヤル 171

～あなたの無事を伝えましょう～

電話を利用して被災地の方の安否情報を確認する「声の伝言板」です。

～あなたの無事を伝えましょう～

インターネットを利用して被災地の方の安否情報を確認する「web伝言板」です。

ご利用方法

171にダイヤル

録音は1 再生は2

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。携帯電話等の電話番号でも登録可能です。

市外局番 市内局番 お客様番号

0

音声ガイダンスによるご案内

ガイダンスに使い、録音 (再生)

災害用伝言ダイヤル(171) ご利用の注意

ご利用できる電話

加入電話、ISDN※、公衆電話、ひかり電話※、災害時特設公衆電話からご利用できます。携帯電話やPHSからも利用いただけますが、詳しくは各通信事業者へお問い合わせください。※ダイヤルで電話をかける場合は、ご利用できません。

ご利用料金

伝言登録等のセンター利用料は無料です。NTT東日本またはNTT西日本の電話から伝言の録音・再生をする場合は通話料は無料です。他通信事業者の電話から発信する場合の通話料については各通信事業者にお問い合わせください。

ご利用の詳細案内

<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

ご利用方法

<https://www.web171.jp>

へアクセス
又は「web171」と検索

伝言を登録する被災地の方などの電話番号を入力

被災地の電話番号を市外局番から入力携帯電話等の電話番号でも登録可能です。

説明に使い、登録/確認

災害用伝言板(web171) ご利用の注意

ご利用できる環境

インターネット接続ができるパソコン、携帯電話、スマートフォン等でご利用できます。※一部の機種ではご利用できません。

ご利用料金

安否情報の登録、閲覧等に伴うサービス利用料は無料です。なお、インターネット接続費用やプロバイダー利用料および、ダイヤルアップ接続の場合は通話料等が別途必要となります。

ご利用の詳細案内

<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

VOC FREE

このソフトは、電話に接続した機器の100%のフリーダイヤルで利用可能となります。

伝言内容: ① 氏名
② 自身及び家族の安否
③ 現状の避難先 (予定を含む)
④ 避難支援の要否
④ その他

伝言登録件数: 20件 (災害時の状況により拡大の可能性あり)
 録音可能時間: 30秒
 伝言を残す番号: 要支援者名簿に記載の電話番号 (自宅、携帯等)
 ※中田区民会館: 0565-57-●●●●

令和4年度 中田自治区の取組

9月10日ワークショップ



1月21日連絡訓練



令和5年度 中田自治区の取組

主な取組

- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**役員向け勉強会やワークショップを実施**
- 前年度に引き続き区民へ周知を図るため、**ふれあいまつりで車いす体験ブースを設置**

取組の経過

時期	参加者	内容
6月8日	区長ほか	今年度の取組に関する打合せ
9月2日	区長、みどり会 自治区役員、消防団 民生委員、お助け隊	勉強会及びワークショップの実施
10月20日	区長、副区長	ふれあいまつり打合せ（車いす体験）
11月19日	自治区全体、自立支援協議会（社協）	ふれあいまつり出展（車いす体験等）

成果

- ◎自治区役員や地域の支援者が参加する勉強会やワークショップを継続的に実施し、**地域全体で要支援者の把握や要支援者対策の重要性を共有**
- ◎毎年継続しているふれあいまつりでの車いす体験やふくし防災すごろく体験を通じて、**区民にも要支援者対策の必要性が浸透**

課題

- 災害発生時の自治区への対応体制の検討及び構築
- 要支援者参加型の防災訓練の企画及び実施

令和6年度 中田自治区の取組

主な取組

- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**役員向け勉強会やワークショップを実施**
- 前年度に引き続き区民へ周知を図るため、**ふれあいまつりで車いす体験ブースを設置**

取組の経過

時期	参加者	内容
6月25日	区長、日赤看護大学	今年度の取組に関する打合せ
8月31日	区長、みどり会 自治区役員、消防団 民生委員、お助け隊	勉強会及びワークショップの実施 ※台風で中止
11月19日	自治区全体、自立支援協議会	ふれあいまつり出展 (車いす体験等)
1月21日	区長、副区長、 日赤看護大学	勉強会及びワークショップ前打合せ
2月15日	区長、みどり会 自治区役員、消防団 民生委員、お助け隊 日赤看護大学	勉強会及びワークショップの実施

成果

- ◎自治区役員や地域の支援者が参加する勉強会やワークショップを継続的に実施し、**地域全体で要支援者対策の現状や課題を共有**
- ◎毎年継続しているふれあいまつりでの車いす体験やふくし防災すごろく体験を通じて、**区民にも要支援者対策の必要性が浸透**

課題

- 要支援者支援の際の優先順位の検討
- 自治区の体制変更後も継続して要支援者対策に取り組むために、役員同士の引継ぎや名簿共有を検討

令和6年度 中田自治区の取組

11月17日ふれあいまつり



2月15日ワークショップ



令和7年度 中田自治区の取組

主な取組

- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**役員向け勉強会やワークショップを実施**
- 前年度に引き続き区民へ周知を図るため、**ふれあいまつりで車いす体験ブースを設置**

取組の経過

時期	参加者	内容
5月20日 8月26日	区長、民生委員 日赤看護大学	今年度の取組に関する打合せ
9月28日	区長、みどり会 自治区役員、消防団 民生委員、お助け隊 日赤看護大学	勉強会及びワークショップの実施
11月17日	自治区全体、自立支援協議会	ふれあいまつり出展（車いす体験等）
1月20日	区長、副区長、 日赤看護大学	勉強会及びワークショップ前打合せ
2月22日	区長、みどり会 自治区役員、消防団 民生委員、お助け隊 日赤看護大学	勉強会及びワークショップの実施

成果

- ◎自治区役員や地域の支援者が参加する勉強会やワークショップを継続的に実施し、**要支援者対策の現状や自治区の災害体制づくりを検討**
- ◎毎年継続しているふれあいまつりでの車いす体験やふくし防災すごろく体験を通じて、**区民にも要支援者対策の必要性が浸透**

課題

- 次年度以降も自治区としての災害体制づくりを定着させていくための、役員同士での引継ぎや共有できる仕組みの検討
- 避難行動要支援者を交えた避難訓練の実施

令和7年度 中田自治区の取組

11月16日ふれあいまつり

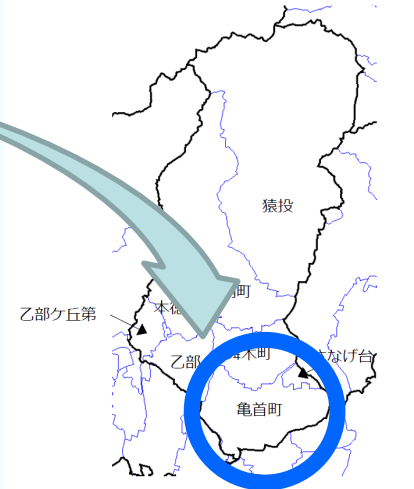
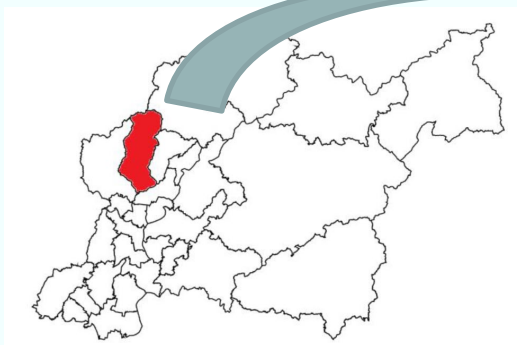


2月22日ワークショップ



亀首町自治区の概要

◎ **位置図**（2022年度版地域カルテより抜粋）



◎ **避難行動要支援者名簿登録状況**（令和8年2月末時点）

猿投 全体		要介護	ひとり暮らし	在宅重度	身体	登録依頼者	合計
	全体	54	29	14	28	2	127
	同意	29	29	14	23	2	97
	不同意	25	0	0	5	0	30

亀首町 自治区		要介護	ひとり暮らし	在宅重度	身体	登録依頼者	合計
	全体	7	4	1	4	1	17
	同意	3	4	1	4	1	13
	不同意	4	0	0	0	0	4

令和2年度 亀首町自治区の取組

主な取組

- 市や自立支援協議会、消防団等と連携し、**要支援者支援を踏まえた防災訓練を実施**
- 日本赤十字豊田看護大学と連携し、**要支援者個別訪問を実施**

取組の経過

時期	参加者	内容
5月	区長	今年度の取組に関する打合せ
7月20日	区長 自立支援協議会	防災訓練打合せ
9月5日	区長 自立支援協議会 消防団	要支援者支援を踏まえた防災訓練の実施
10月	区長 日赤看護大学	要支援者個別訪問の実施

成果

- ◎防災訓練に要支援者支援の視点を追加し、**地域全体で考える機会を創出**
- ◎要支援者宅の個別訪問を実施し、**地域の実態を把握**

課題

- 要支援者支援の視点を取り入れた防災訓練メニューの定着
- 要支援者参加型の防災訓練実施に向けた検討
- 地域の福祉事業所との関わりを維持した連携体制の強化

令和3年度 亀首町自治区の取組

主な取組

- 区長や自治区役員が参加する避難行動要支援者対策勉強会の開催
- ワークショップや車いす訓練などを盛り込んだ防災訓練の実施



取組の経過

時期	参加者	内容
7月19日	区長	今年度の取組に関する打合せ
8月15日	区長 自治区役員	避難行動要支援者対策勉強会の開催
11月2日	区長、副区長 会計、土木	防災訓練打合せ
12月5日	区長、自治区役員、 民生委員、消防団、 婦人クラブ、 自立支援協議会	防災訓練の実施 (ワークショップ、 DVD視聴、車イス 体験、水消火器訓練 など)



成果

- ◎勉強会を通じて自治区役員が災害時の行動や制度について理解することができ、定期的に要支援者支援を検討する機会を創出
- ◎自立支援協議会と連携した車いす体験などを防災訓練で導入し、地域で活動する支援者のスキルアップを実現

課題

- 自治区内における連絡体制の見直し
- コロナ禍での要支援者宅訪問の制限や自治区イベントの中止による交流機会の減少

令和4年度 亀首町自治区の取組

主な取組

- 令和3年度から継続し、自治区役員等を対象に**避難行動要支援者対策勉強会**を開催
- 避難行動要支援者が参加する**防災訓練の実施**

取組の経過

時期	参加者	内容
5月23日	区長	今年度の取組に関する打合せ
8月21日	区長、副区長 評議員、消防団 民生委員ほか	避難行動要支援者 対策勉強会&ワーク ショップの開催
11月22日	区長、副区長	防災訓練の打合せ
12月11日	区長、副区長 自治区役員ほか	防災訓練の実施 (児童館への避難)
1月25日	区長	今年度の振り返り

成果

- ◎昨年度に引き続き、自治区役員や民生委員などに勉強会を開催し、**地域の支援者の意識を醸成**
- ◎要支援者が参加する防災訓練を実施し、**支援者と要支援者の双方の思いや課題を共有**

課題

- 災害発生時における自治区役員の役割の明確化
- 自治区の備蓄品に関する使用方法やストックの確認及び検討



令和5年度 亀首町自治区の取組

主な取組

- 地域包括支援センターや消防団等と連携し、**要支援者支援を踏まえた防災訓練を実施**
- 防災訓練マニュアルや実施フローの作成で、持続可能な防災訓練の仕組みを構築

取組の経過

時期	参加者	内容
5月19日	区長、副区長、役員	今年度の取組に関する打合せ
7月7日	区長、副区長、役員	防災訓練打合せ
10月29日	区長、役員、消防団、包括など	要支援者支援を踏まえた防災訓練の実施



成果

- ◎防災訓練に地域包括支援センターなど**地域の支援者にも参加してもらうこと**で、**地域全体の連携を強化**
- ◎自治区の役員が毎年入れ替わる中で防災訓練のマニュアルやフローの作成により、**引継ぎの円滑化を実現**

課題

- 区民全体まで対象を広げた防災訓練の実施
- 自治区役員や地域の支援者が、普段から要支援者と関われる関係づくり

令和6年度 亀首町自治区の取組

主な取組

- 持続可能な支援体制づくりの一環として、**自主防災会に常任の役職を新設**
- 地域の実情に合わせた実践的な防災訓練の実施**
- 避難行動要支援者の避難に関する実態を調査するために**自治区独自のアンケートを実施**

取組の経過

時期	参加者	内容
5月10日	区長 日赤看護大学	今年度の取組に関する打合せ
8月19日	区長	自主防災組織の改編及び防災訓練打合せ
10月8日	区長 日赤看護大学	防災訓練詳細打合せ
10月20日	区長、役員 日赤看護大学	防災訓練実施 (要支援者参加型)
2月5日	区長 日赤看護大学	振り返りと次年度取組検討



成果

- ◎自主防災会に常任の役職（推進委員）を設置し、役員や消防団OBが就任したことで**要支援者対策を持続的に取組むことが可能に**
- ◎防災訓練では、役員を児童館への参集順に役割分担することで、**より地域の実情にあった実践的な訓練が可能に**
- ◎要支援者への独自アンケートを通じて自治区が避難先や避難支援の有無を把握することができ、**限られた支援者で効率的に避難支援できる仕組みを構築**

課題

- 南海トラフ地震を想定した対策検討

令和6年度 亀首町自治区の取組

○避難行動要支援者 へのアンケート (自治区独自で実施)

避難行動要支援者(ご家族)、一人暮らしの高齢者の皆様へ

災害が発生し、あるいは災害の発生が見込まれるとき、手助けの必要性について伺います。

大型台風を始め、大雨により水害が発生する見込みがある時、亀首町自治区の場合は、「亀首町児童館」が一時避難所となります。

質問 1 その時、あなたは一時避難所に避難しますか。

1 避難 ⇒ ⇒

1 避難の手助けをしてほしい
2 家族等に対応できるため、手助けはらない

2 避難 ⇒ ⇒

1 自宅の二階に避難(垂直避難)できるから
2 近くの安全なところ(知人・親戚宅等)に避難できるから
3 水害の心配のないところに住んでいるから
4 直接避難所(加納小・四郷小・広沢こども園)に行くから

南海トラフ大地震が発生し、自宅が損壊し自宅に住むことが危険となった

質問 2 その時、あなたは一時避難所に避難しますか。

1 避難 ⇒ ⇒

1 避難の手助けをしてほしい
2 家族等に対応できるため、手助けはらない

2 避難 ⇒ ⇒

1 自宅の敷地内で生活できるから
2 近くの安全な所(知り合い・親戚宅等)に避難できるか
3 直接避難所(加納小・四郷小・広沢こども園)に行くから
4 その他 (理由)

以上、番号に○を付してください。

その他

ご意見・ご要望がありましたらお知らせください。

以上のとおりお知らせします。

亀首町自治区自主防災会 様

組	氏名
---	----

記入後は、お近くの評議員にお渡しいただくか、封をして児童館ポストにお入れください。
なお、10月27日(日)に防災訓練を予定していますので、できればご参加ください。

令和6年度 亀首町自治区の取組

○防災訓練資料

【警戒レベル3】発令に伴う高齢者等「避難行動要支援者」への対応訓練

亀首町自治区(亀首町自治区自主防災会)

前提 1 レベル3の発令でレベル4が想定される状況
 前提 2 亀首町児童館でできることを行う
 前提 3 協力 消防団・婦人会・包括支援センター
 前提 4 ハザードマップを参考とした被災想定
 0. 5m~3m 森腰地区
 0. 5m未満 上町屋・下町屋の 柳川沿い

参考【警戒レベル3】について
 高齢者等避難 避難行動要支援者等に早めの段階で避難行動を開始することを求めるとともに、高齢者等以外の人にも避難準備や自主的な避難を呼びかける。
 また、必要に応じ、【警戒レベル3】高齢者等避難の発令等とあわせて避難場所を開設する。
 なお、夜間、早朝に高齢者等避難を発令するような状況が想定される場合には、その前の夕刻時点において【警戒レベル3】高齢者等避難を発令する。

伝達訓練

1 大型台風接近により大雨洪水警報発令 警戒レベル3発令

2 市から区長への連絡

3 会長から副会長へ伝達 別途 ※2~5へ集合連絡 ※1は、自宅待機を指示

4 副会長は推進委員に伝達 別途 連絡網による

一時避難所開設訓練

5 【区長児童館開設】 ※伝達内容
 ① 参加者名簿用意 1訓練であること
 ② 要支援者の居住位置情報確認 2大雨洪水警報により警戒レベル3発令
 ③ 気象台・市の情報収集 3自宅の万全を確認し児童館に集合
 ④ 顧問・相談役へ集合要請
 ⑤ 民生委員へ集合要請

6 副会長参集

7 【副会長指示】 玄関にて 各参加者にマニュアルを手交し指示
 ① 参加者A・B 受付業務を指示 参加者名簿、机1・椅子2を用意
 ② 参加者C・D ※2 三者への協力要請を指示
 消防団は詰め所待機 内、連絡員1名児童館待機するよう要請
 機材の位置確認及び点検を指示(担架・薬箱等)
 ③ 参加者E・F ※3 飲料水・非常食・日用品・トイレ用水の位置確認を指示
 ④ 参加者G・H ※4 避難者受付準備を指示 ホワイトボード・避難室の点検
 ⑤ 参加者I・J ※5 ホワイトボードに避難者の情報を表示
 2F 婦人会室、会議室、和室A・和室B
 1F 和室、応接室、ステージA・ステージB、
 アコーディオンA、アコーディオンB
 ⑥ 参加者C~F ステージA・B、アコーディオンA・Bの目隠しの設置を指示
 ⑦ 参加者G・H 本部屋設置を指示 机2・椅子6・ポ 防災ラジオ、電話子器
 ⑧ 参加者A~H 本部屋横で待機

一時避難者受け入れ訓練 【本部屋要員】 区長・副区長、民生委員、消防団連絡委員、他

8 要支援(避難)者の確認 本部屋から副区長により指示
 ① 参加者A・B 事前調査で「要手助け」者(3名)に連絡を指示 避難手順について確認し、3名1組で向出くよう指示
 ② 参加者G・H 事前調査で「自力避難」者(名)に連絡 避難を促す

9 避難者の受け入れ

① 参加者I・J
 ② 本部屋

- ・ 避難者受付をし、カードを本部屋に渡す
- ・ 避難者カードから、避難室を判断し、各部屋に案内するよう待機する参加者に指示
- ・ 備蓄品等要望書を記入しておくよう指示
- ・ 避難者情報等をホワイトボードに表示
- ・ 以下、避難者(家族単位)ごとに繰り返し

避難者に対する非常食等給付訓練

※ 非常食等給付訓練

① 「④室」避難者X 非常食・水の配布応援を依頼 参加者Aと避難者Xとの協働
 ② 「④室」避難者Y 湯沸室で給湯の応援を依頼 参加者Bと避難者Yとの協働
 ③ 「④室」避難者Z 日用品等配布の応援を依頼 参加者Cと避難者Zとの協働

停電・断水時の訓練

【停電・断水発生】
 副会長指示

① 参加者G・H ※4 電源の確保を指示
 ② 参加者E・F ※3 水の確保要請(トイレ・飲料用)
 ③ 参加者G・H ※4 簡易トイレ(袋)を各トイレに設置

一時避難所訓練終了 避難者は各部屋に待機

火災避難訓練

1F湯沸室からの出火を想定
 事務室から「火事だ」との発声
 最寄りの非常口から全員退避

応急手当訓練 AED等 北消防署の指導により実施 時間的に無理か?

別途 車椅子2台 包括支援センターより借用 ・参加者の車椅子体験
 ・トイレの介助体験 等

令和7年度 亀首町自治区の取組

主な取組

○自治区役員をはじめとする地域住民を対象に**避難行動要支援者対策勉強会を開催**

取組の経過

時期	参加者	内容
5月23日	区長 日赤看護大学	今年度の取組に関する打合せ
9月21日	区長 自治区役員	名簿制度に関する勉強会の実施



成果

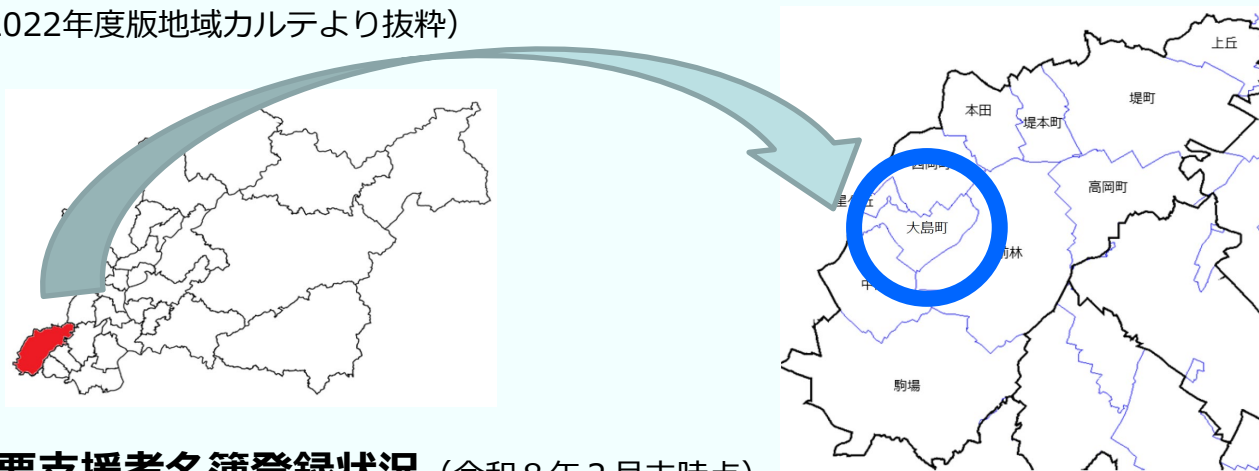
◎勉強会に自治区関係者だけでなく、民生委員や地域住民など**幅広く地域住民に参加してもらうことで、地域全体の要支援者理解を促進**

課題

- 区民全体まで対象を広げた防災訓練の実施
- 自治区役員や地域の支援者が、普段から要支援者と関われる関係づくり
- 南海トラフ地震を想定した対策検討

大島町自治区の概要

◎ **位置図**（2022年度版地域カルテより抜粋）



◎ **避難行動要支援者名簿登録状況**（令和8年2月末時点）

前林 全体		要介護	ひとり暮らし	在宅重度	身体	登録依頼者	合計
	全体	146	120	17	74	8	365
	同意	79	120	14	53	8	274
	不同意	67	0	3	21		91

大島町 自治区		要介護	ひとり暮らし	在宅重度	身体	登録依頼者	合計
	全体	11	6	1	11	0	29
	同意	7	6	1	9	0	23
	不同意	4	0	0	2		6

令和2年度 大島町自治区の取組

主な取組

- 要支援者への支援に視点を置いたICT技術活用の実証実験の実施

取組の経過

時期	参加者	内容
4月12日	区長、副区長	今年度の取組に関する打合せ
7月20日	区長、自立支援協議会	啓発用チラシについてのヒアリング
12月8日	区長 自治区役員	防災アプリ実証実験の実施

成果

- ◎防災アプリの実証実験を通じて最新の要支援者対策を体験し、支援の選択肢を拡充

課題

- 自主防災隊と連携した組織体制構築の検討
- 啓発チラシ（ふくし防災すごろく）を自治区で活用した取組の検討
- ICT技術を活用した避難支援手段の検討

令和3年度 大島町自治区の取組

主な取組

- 要支援者への支援体制構築に向けた勉強会及びワークショップの実施
- 要支援者への支援に視点を置いたICT技術活用の実証実験の実施



取組の経過

時期	参加者	内容
7月26日	区長	今年度の取組に関する打合せ
10月8日	区長、副区長、前区長	避難行動要支援者対策勉強会打合せ
10月16日	区長、民生委員自治区役員、自主防災会	避難行動要支援者対策勉強会及びワークショップの実施
12～1月	区長、民生委員自治区役員	ICT技術活用の実証実験
1月26日	区長、民生委員自治区役員	ICT技術活用の実証実験報告会

成果

- ◎要支援者対策勉強会やワークショップを通じて、自治区役員や地域の支援者の意識が向上
- ◎防災アプリの実証実験を通じて最新の要支援者対策を体験し、支援の選択肢を拡充

課題

- 自治区のイベントやワークショップ、訓練への要支援者の参加
- 自主防災マップの更新検討

令和4年度 大島町自治区の取組

主な取組

- 区民にも要支援者対策を周知するため、ふれあい夏まつりで車いす体験ブース等を設置
- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**勉強会やワークショップを実施**
- 要支援者への支援に視点を置いた**ICT技術活用の実証実験の実施**

取組の経過

時期	参加者	内容
5月9日	区長、副区長ほか	今年度の取組に関する打合せ
7月1日	区長、副区長ほか	ふれあい夏まつり打合せ
8月20日	区長、民生委員 自治区役員 自主防災会	ふれあい夏まつりで車いす体験等のブース出展
10月15日	区長、民生委員 自治区役員、 自主防災会	避難行動要支援者対策勉強会及びワークショップの実施
11～1月	区長、民生委員 自治区役員	ICT技術活用の実証実験
1月18日	区長、民生委員 自治区役員	今年度取組の振り返り及び次年度協議

成果

- ◎ふれあい夏まつりに要支援者対策の要素を入れることで、**区民が楽しみながら制度や取組を知る機会を創出**
- ◎継続的に要支援者対策勉強会やワークショップを実施することで、**地域全体で要支援者対策の重要性を共有**
- ◎防災アプリの実証実験を通じて最新の要支援者対策を体験し、支援の選択肢を拡充

課題

- 自治区のイベントやワークショップ、訓練への要支援者の参加
- 災害対応体制の実効性の確保

令和4年度 大島町自治区の取組

8月20日ふれあい夏まつり



10月15日ワークショップ



令和5年度 大島町自治区の取組

主な取組

- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**勉強会やワークショップを実施**
- 要支援者への支援に視点を置いた**防災訓練の実施**

取組の経過

時期	参加者	内容
4月12日	区長、副区長ほか	今年度の取組に関する打合せ
5月21日	区長、民生委員自治区役員、自主防災会	避難行動要支援者対策勉強会及びワークショップの実施
8月26日	区長、民生委員自治区役員、自主防災会	防災訓練の実施
2月9日	区長、副区長ほか	今年度取組の振り返り及び次年度協議

成果

- ◎自治区役員や地域の支援者が参加する勉強会やワークショップを継続的に実施し、**地域全体で要支援者の把握や要支援者対策の重要性を共有**
- ◎勉強会では、要支援者対策に加えて防災対策課が防災に関する内容も説明し、効果的に防災知識を習得

課題

- 既存の災害対応体制の見直し及び実効性の検証
- 自主防災会や組長と連携した地域共助体制の検討

令和6年度 大島町自治区の取組

主な取組

- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**勉強会やワークショップを実施**

取組の経過

時期	参加者	内容
5月19日	区長、民生委員 自治区役員、 自主防災会	避難行動要支援者対 策勉強会及びワーク ショップの実施

成果

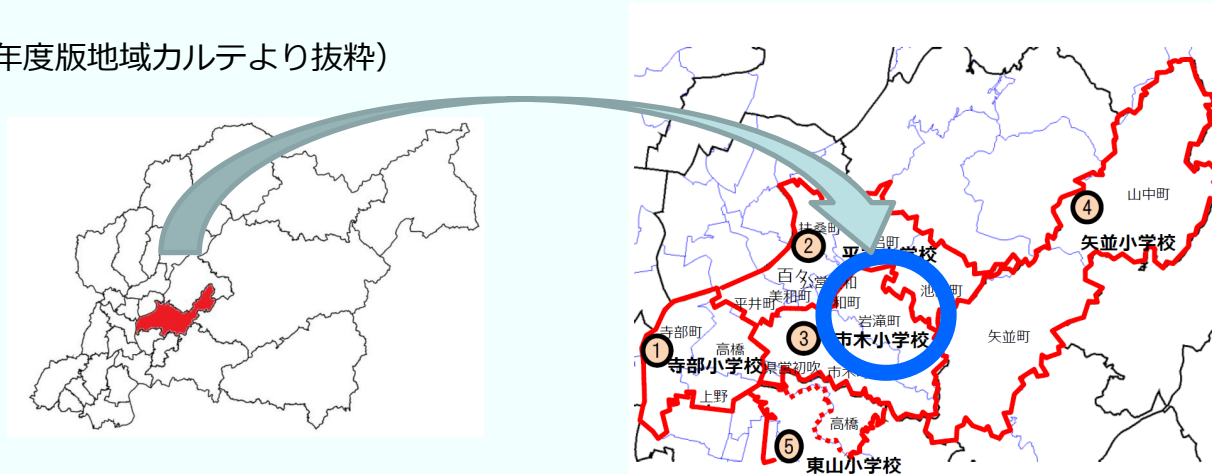
- ◎自治区役員や地域の支援者が参加する勉強会やワークショップを継続的に実施し、**地域全体で要支援者の把握や要支援者対策の重要性を共有**
- ◎勉強会では、要支援者対策に加えて防災対策課が防災に関する内容も説明し、効果的に防災知識を習得

課題

- 既存の災害対応体制の見直し及び実効性の検証
- 自主防災会や組長と連携した地域共助体制の検討

岩滝町自治区の概要

◎ **位置図**（2022年度版地域カルテより抜粋）



◎ **避難行動要支援者名簿登録状況**（令和8年2月末時点）

高橋 全体		要介護	ひとり暮らし	在宅重度	身体	登録依頼者	合計
	全体	149	243	34	74	3	503
	同意	92	243	31	49	3	418
	不同意	57	0	3	25		85

岩滝町 自治区		要介護	ひとり暮らし	在宅重度	身体	登録依頼者	合計
	全体	8	3	0	5	1	17
	同意	7	3	0	3	1	14
	不同意	1	0	0	2		3

令和2年度 岩滝町自治区の取組

主な取組

- 避難行動要支援者対策勉強会を自治区役員向けと組長向けの2回実施

取組の経過

時期	参加者	内容
6月4日	区長、副区長、民生委員	今年度の取組に関する打合せ
7月8日	区長	勉強会打合せ
7月12日	区長、副区長 自治区役員	避難行動要支援者対策勉強会の実施
7月19日	自治区役員、 組長	避難行動要支援者対策勉強会の実施
8月21日	区長	要支援者マップの作成について相談
12月3日	区長	今年度取組の振り返り及び次年度協議

成果

- ◎勉強会を役員向けと組長向けの2回実施することで、**制度理解を促進**

課題

- 自治区内における要支援者対策事業の引継ぎ方法の検討
- 避難行動要支援者名簿情報を組長まで共有し、支援体制の強化を検討
- 地域包括支援センター等との合同訓練の実施

令和3年度 岩滝町自治区の取組

主な取組

- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**勉強会やワークショップを実施**
- 自治区で避難行動要支援者名簿の組長用名簿を作成し、**名簿情報を組長まで共有**

取組の経過

時期	参加者	内容
8月4日	区長	今年度の取組に関する打合せ
8月15日	区長、組長 自治区役員	避難行動要支援者対策勉強会の実施
11月5日	区長	ワークショップ及び組長用名簿打合せ
1月5日	区長	ワークショップ打合せ
1月16日	区長、組長 自治区役員	ワークショップの実施及び組長用名簿配布



成果

- ◎継続的に要支援者対策勉強会やワークショップを実施することで、**地域全体で要支援者対策の重要性を共有**
- ◎組長まで避難行動要支援者名簿の情報を共有することで、**よりきめ細かい支援体制を構築**

課題

- 自治区内における要支援者対策事業の引継ぎ方法の検討（組長名簿等）
- 地域包括支援センター等との合同訓練の実施

令和4年度 岩滝町自治区の取組

主な取組

- 持続的な要支援者支援体制を構築するため、**勉強会やワークショップを実施**
- 自治区で防災訓練を実施し、その一環で**組長が要支援者宅の訪問調査を実施**

取組の経過

時期	参加者	内容
5月11日	区長	今年度の取組に関する打合せ
5月29日	区長、組長 自治区役員	避難行動要支援者対策勉強会の実施
7月17日	区長、組長 自治区役員	ワークショップ実施 (要支援者の把握等)
11月6日	区長、組長 自治区役員 自立支援協議会	防災訓練の実施 (組長による要支援者宅の訪問調査等)
1月15日	区長、組長 自治区役員	ワークショップ実施 (訪問調査の共有)
1月30日	区長	今年度取組の振り返り

成果

- ◎継続的に要支援者対策勉強会やワークショップを実施することで、**地域全体で要支援者の把握や要支援者対策の重要性を共有**
- ◎自治区役員や組長等が大半入れ替わる中で、制度理解の勉強会から開始し、避難支援を検討するワークショップや防災訓練を実施するなど、**要支援者対策の年間スケジュールを確立**
- ◎組長まで避難行動要支援者名簿の情報を共有した上で、防災訓練で要支援者宅の訪問調査を実施し、**避難支援体制の構築に向けた実効性のある取組を実施**

令和4年度 岩滝町自治区の取組

7月17日ワークショップ



11月6日防災訓練





**最後までご覧いただき、
ありがとうございました。**

**出前講座や勉強会等の依頼がありましたら、
お気軽にご連絡ください！**

《問合せ》

豊田市 よりそい支援課

☎ 34-6791